



第5回JPRSI会員セミナー



2021年3月15日
海外環境協力センター (OECC)
理事 加藤 真

公的金融機関の役割

1. リスク評価が難しい案件への資金支援
 2. 公共性が高い案件への資金支援 など
 3. （リスクマネーの供給）
- ➡ 民間セクターが参入しにくい案件への融資提供。

民間金融機関を取り巻く環境の変化

- 2003年：赤道原則
 - 2006年：責任投資原則
 - 2012年：持続可能な保険原則
1. 2015年：2030アジェンダ/SDGs（持続可能な開発目標）及びパリ協定の採択
 2. 2019年：PRB（Principle for Responsible Banking）責任銀行原則の採択
- ➡ ESGを重視する潮流の加速化
環境リスクによる金融リスクへの波及認識
- ➡ **サステナブルファイナンスに対する取組促進**

産業界サイドからの金融市場への更なる期待（希求）

◆ トランジション・ファイナンス

- ➡ GHG排出実質ゼロを短期的に見込めない産業が低炭素化していく移行（トランジション）過程を評価した資金支援。

◆ イノベーション・ファイナンス

- ➡ GHG排出抑制、再利用に向けた革新的イノベーション技術の開発、実証、普及に向けた資金支援。

代表的なサステイナブルファイナンス

（資金調達手法）

<間接金融>

● 融資

(ex) サステイナブルローン、
グリーンローン

<直接金融>

● ESG投資

● サステナブル債（ESG債）

(ex) グリーンボンド、ソーシャルボンド、
サステイナブルボンド

● リース

(ex) エコリース、SDGsリース